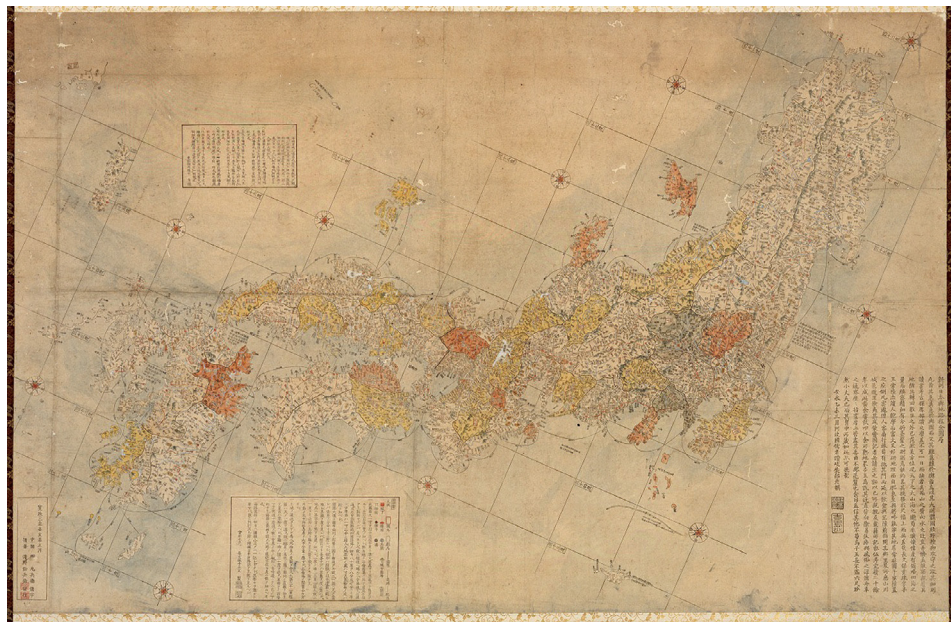


国指定重要文化財
改正日本輿地
路程全図
(通称 赤水図)



長久保赤水銅像(高萩駅前)



改正日本輿地路程全図(通称 赤水図)

赤浜村の農家に生まれ、苦学の末に6代水戸藩主徳川治保の侍講(教師)となった地理学者・長久保赤水是、日本地図『改正日本輿地路程全図(通称 赤水図)』を刊行しました。

『改正日本輿地路程全図』は、20余年をかけて完成され、日本初の緯線を用いた日本地図は、約100年もの間人々に愛用されました。この地図は伊能忠敬や吉田松陰も携帯したとされています。

2017年には生誕300年の記念行事として、歴史民俗資料館で特別展が開催されました。また、2020年には、赤水図をはじめとする資料693点が国の重要文化財に指定され、国民的財産に位置づけられました。



ながくぼせきすい
長久保赤水
(1717~1801)



市指定文化財
釈迦如来座像「能仁寺」

鎌倉時代後期に彫られた能仁寺の本尊です。渦が刻まれた螺髪、適度な装飾と動きのある彫り口など、当時の作風を示す重厚な作りです。



県指定文化財
絹本着色観経十六観变相図「大高寺」

1300年頃の高麗(現在の朝鮮半島)制作の絵画と推定される貴重な作品です。阿弥陀如来の観想法が描かれています。



市指定文化財
胎蔵界・曼荼羅図「大高寺」

大日如来を中心に、八葉蓮弁に四仏・四菩薩を交互に配し、般若・釈迦・普賢・観音などの諸仏を配置した曼荼羅図です。災いを除いて即身成仏する教理を示しています。

THE GUIDE TO
BEAUTIFUL CITY
TAKAHAGI

HISTORY & CULTURE

歴史文化

県指定文化財
穂積家住宅



国登録有形文化財
花貫川第一発電所
第3号水路橋



母屋、長屋門、前蔵、衣裳蔵、庭園からなる穂積家住宅。寄棟造りに一部入母屋造りを入れ、茅などを重ねて葺いた屋根を持つ母屋は、安永2年(1773年)の建造です。江戸時代に描かれた屋敷絵図もほぼ現状をとどめ、当時の豪農住宅を知る貴重な文化遺産となっています。令和4年度には、茅葺屋根の葺替工事を行い、劣化した茅や破損した部材の交換を行いました。

花貫川第一発電所第3号水路橋は、大正7年に花貫川から水力発電用の水を引くために造られた水路橋で、長さ77・4メートル、幅2・1メートル、地上からの高さは22・4メートルあります。両側の山に向かって二つのアーチを作る姿が「めがね」のように見える

ことから、通称「めがね橋」と呼ばれています。

安良川八幡宮の爺杉は、安良川八幡宮の境内にある、推定樹齢千年といわれる県内最大級の杉で、大正13年に国の天然記念物に指定され、高萩の歴史を知る守り神です。

松岩寺のヤマザクラは、推定樹齢約300年。樹の高さ12メートル、根元周囲5・6メートルの巨木です。4月中旬〜下旬に花を咲かせることから、稲作の種まきの時期を知らせる花暦としても親しまれています。

県指定天然記念物
松岩寺のヤマザクラ



国指定天然記念物
安良川八幡宮の爺杉